



第5回PT会議より

9/21 (金) 16:40~被服室にて、第5回の授業改善PT会議を行いました。メンバーのほか、教頭先生、酒井先生、非常勤講師の小泉先生と加藤先生にもご参加いただきました。

(1) 授業実践報告①奥村教諭 (地学2年7組) 「日本の自然災害～防災・減災について考える～」



(写真は9月職員会議より)

8月の課外時に実践された内容を発表していただいた。最近、日本は自然災害に見舞われている。授業では、平成16年の福井豪雨を例に挙げ、奥村先生ご自身が被災されたことを導入として、まずは生徒の意識調査(避難場所を知っているか、非常食の準備があるか、など)を行った。それから各自治体(越前市、鯖江市、敦賀市など)が各世帯に配布しているハザードマップを資料として入手、それを実際に使い、生徒に自身の家の場所を書き込ませ、避難場所を確認、避難するときに必要なことなどを考えさせた。また、津波のハザードマップから地形と津波の高さの関係を話し合わせた。今後の課題としては、「災害の話題を何も無い幸せな時に行っても生徒は実感できない。授業を実施するタイミングが大事だ。」と話されていた。ちなみに、同じテーマで本田先生がbSRで取り組まれている。

「最近、自然災害が多く発生しているため、防災教育が必要だと思った。各自治体からハザードマップが発行されているが、中身を見たことがある生徒は少ないのではないかと予想し、実際家にあることすら知らない生徒が多かった。この授業を通して、生徒1人ひとりの防災意識が高まっていくといい。」(奥村先生談)

(2) 授業実践報告②相道教諭 (3年倫理) 「哲学カフェ」

相道先生は精力的に生徒に「書かせる活動」を継続的に指導されている。今回のテーマは、「日本人は、他の国の人と比べて自己肯定感が低い傾向にある。このことについてあなたの考えを述べよ。」「最近、日本のスポーツ界などで独裁的な人物が権力を行使して君臨していることが伝えられているが、このことについてあなたの考えを述べよ。」であった。

「この取り組みにより考える力や、表現力を育成できる。また、他者の意見を聞くことによって、自分の意見の幅が広がっていく。」

(相道先生談)

(3) 「今生徒に身につけさせたいファシリテーション」 発表者：小原先生、ファシリテーター：野村幸史先生

今回の研修は、夏の東大OCで、東大生のプレゼンテーションに興味を覚えた小原先生と野村先生の発案で実施された。生徒がプレゼンする機会は、理数科はもちろんだがPSIでは普通科の生徒全員が経験することになる。よいプレゼンの能力が生徒に身につくためには、指導する私たちが「ファシリテーションとは何か」を知っておかなければならない。というわけで、**【ファシリテーションとは・・・】**

「**環境を整え 雰囲気を作り 1人1人を尊重しながら 耳を傾け 問いかけ 受け止めていくこと**」という基本的なことを押さえながら、グループで①「授業の悩みについて」②「公開授業のメリット」③「新テストに向けた新しい授業づくりについて」④「深い学びのある評価について」という4つをテーマにファシリテーターの実践演習を行った。最後に福井大学教職大学院非常勤講師・富永良史先生にご講評をいただいた。「～しなくちゃいけない、と思っている時点でファシリテーターが緊張しているから、よい雰囲気を育めない」「答えのない問いに対して、生徒が自由に発言できる環境を整えることが大事」など、まさに主体的対話的で深い学びができる授業の雰囲気づくりを学べた研修であった。小原先生は、生徒にファシリテーションの力を身につけさせるのはなかなか難しそう、この形式での研究発表を生徒に挑戦させることで、研究の深い理解につながるの、意味はある、この形式を武生高校教科横断型授業に発展させたいと話していました。



今月の公開授業

「論述形式の答案の要素をつかむ」

～国公立大学二次試験対策・小説～

辻崎 千尋 教諭 3年6組 「現代文」

3年生はいよいよ演習の時期に突入した。意外と小説は生徒にとって攻略が難しい。今回は岡山の過去問を題材に、「模範解答が必要とされる要素をつかもう」というテーマで授業を行った。生徒たちはまず、解法と答えを書く。次にグループでそれぞれの答えを共有し、必要だと思う要素をまとめ、黒板に書き出す。全体で共有し確認したあと、もう一度自分の解答を作り直す。最後に模範解答を見て、求められている要素をふまえて答案をつくらなかったかどうかを確認する。生徒にとっては絶妙な問いであり、グループでの議論も盛り上がり、授業後に鋭い質問をしてきた生徒もいた。生徒の考えが深まる問いや仕掛けを、授業者は常にもっていたい。

【ふたりごと】

- ・豪雪から始まり、地震、台風と今年は自然災害が多かったですね。「自然災害大国」と呼ばれる日本に生きる私たちにとって、防災を学ぶことはとても重要です。(私も最寄りの避難所を調べておこうと...)
- ・高校時代にプレゼン能力を鍛える機会がもっとあったなら、今、毎回手に汗握らず人前で上手く話せたかも...。ファシリテーション能力、鍛えたい。

(9月担当 室井・本田)